



～ご卒業おめでとうございます～



日 方 川

大樹高校PTAだより
第133号
令和5年3月1日発行
発行人 黒澤間村
編集人 木豊由雅
新美

卒業を迎えて



3A 齋藤 有沙人

新しい環境に期待と不安で胸を踊らせた日から、今日に至るまでの三年間は、実にあつという間です。そんな中でも、お互に努力を積み重ねたりといを理解し合い日々の学校生活に楽しみを探したり、それぞれの道のため、一人ひとりがたくさん思い出を残すことができました。

この三年間でできた思い出や、先生方、親への感謝を忘れず、これから人生の糧にして前に進みます。三年間ありがとうございました。



卒業式を迎えるにあたつて



3A担任 美保 佐々木

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様におかれましては、この日を迎えたことに心より御祝い申し上げます。

初担任としてスタートを切った三年前、一年A組の教室には、着慣れない制服を着て、不安な表情の中にも未来への希望を感じている生徒たちの姿がありました。新型コロナウイルス感染症と共に始まつた高校生活。すべてが計画通りにいかず、様々なことが変更され、様々なことが思い通りになりませんでした。朝のS.H.R.の最後には定期的に感染症対策の話。

そんな学校生活の中、生徒たちはその場その場の状況に応じて、柔軟に対応し適しく行動していました。体育大会では、常に上を目指す想いが非常に強く、球技に対する身のこなしは素晴らしいものがあり、さらに実力も備わっていました。一年生の時から戦いへの狙いは点数獲得、求めるもの

は勝利その一本でした。上位層に対しても頗々とした表情でねじ込んでいました。その勝ち気はこれから的人生にも活かされていきます。学級ではそれぞれの良さを持ち寄って、できるところを地道にコツコツと行っていました。各学年での学校祭の反省を活かしながら取り組んだ最後の三年生の学校祭は完成版でした。一人ひとりの良さが前面に演出されたステージパフォーマンス。何よりも保護者の方々に観て頂けたことは本当に嬉しかつたです。少しずつ成長していく姿はいつも頼もしく、頼りがいがある存在となっていました。今まさに、それぞれの道を切り拓くために生徒たちが一步一歩歩んでいます。無垢な気持ちを忘れずにこれからもたくさんの経験をし、人との出会いを大切に様々なことを乗り越えながら大樹町の名前と同様に大きな木に成長していくことを願っています。

最後に、学年の取り組みに御理解と御協力を頂きましたことに深く感謝し、心より御礼を申し上げます。

「新たな世界の入り口に立つた皆さんへ」



校長 前田英伸

本日この佳き日に、晴れて卒業の日を迎えられました。三年生のみなさん、御卒業おめでとうございました。また、ほぼ在校期間すべてに渡つて、新型コロナウイルス感染症対応とに対し、心より感謝申上げます。保護者のみなさまにおかれましては、さまざまなお場面で学校を支えていただいたことに對し、心より感謝申上げます。保護者のみなさまにおかれましては、さまでございました。お御卒業のお祝いを申し上げますとともに、コロナ禍の中、三時間P.T.A.として本校の教育活動に御理解と御支援をいただきました方に改めて厚くお礼申し上げます。

さて、卒業生のみなさんは、今年度の学校祭のテーマとして「一人じやないつて最強だ」という言葉を掲げていました。合唱曲では「新たな世界の入り口には立ちぬいたい」とつづることで、一人じやないつてこと」と声を合わせて見事に歌っていました。皆さんが大切なことを思っています。しかし、それは決して簡単で単純なことは決してしまつてゐる時代において、多くの人がから其感を得ることだと思います。しかし、それには決して簡単で単純なことは決してないことを皆さんは学んできたのだと思ふ。一人では誰かといふことは、必ず誰かとのコミュニケーションを求めるのです。よい人間関係を築いていくた

人ではないという気づきの難しさとすばらしさを共有し、喜びを分かち合ふ。今日を迎えているので高校生活は終わりとなりますが、学ぶことはこれからも続きます。個人ひとりが伸びる力を伸ばし、それぞれがそれぞれを強くする存在となつて、大樹高校が理想とする共生社会の担い手となつてください。最後になりますが、卒業生の皆さん前途に多くあることを祈念しますとともに、これまで惜しみなく支援を続けてくださったすべての方々に、深く敬意と感謝をお伝えし上げ、卒業証書授与式にあたつての挨拶とさせていただきます。

めには、コミュニケーションスキルが必要です。お互いの違いを理解し合おうとする大切さを理解してもらいたい。お互いの尊重と話し合い、お互いに納得するまで粘り強く話し合う過程は、非常に困難な耐力を必要とします。このことは、大樹高校の学びが目指すテーマの一つであり、正解がない、あるいは一つではできない、新しい課題の解決策を創造していくために、多くの異質な人々と協働していくくといふ、未来社会から求められることとも言えるのです。この三年間は、どうもまた何かつたことが多かつたなかつたことよりも多かつた

PTA会長

A black and white portrait of Tomoko Yamamoto, a woman with long dark hair, wearing a dark blazer over a light-colored collared shirt.

卒業する先輩へ



X
PTA事業部
「卒業式を迎えるにあたって」と
「この1年間を振り返って」

の始まりであります。今、可能性は無限にあります。どこにでも行ける道が限ります。ただ時間は流れに戸惑う時もあるでしょう。具体的なイメージを自分で持ち、時代の流れを楽しむ様にし、今、何をすべきかを考え、行動して欲しいと思います。どこにでも行ける道はあります。頑張つて下さい。

皆さんの中には卒業を迎えるわくわく感、友達と一緒に離れてしまう寂しさ、さまざまな気持ちで満たされているのではないかと想います。最後になりますが、皆さんの中での活躍、そして素晴らしい人生歩んでいかれることを心より願っています。



卒業する先輩方へ



2 A

卒業する先輩方へ

三年生の皆さんご卒業
おめでとうござります。
この二年間、先輩方の
つこいい姿をたくさん見
て学んできました。委員
会や部活動など、色々な
事でとても参考になりました。

いつも私達の手本に
つてくれた先輩方が高
いです。まうのは凄く寂
らいです。皆さんのおわ
けの活躍を陰ながら
援しています。

私達も先輩方のよろ
かっこいい上級生にな
るよう頑張ります。す
べてが高校に遊びに
来てください。また会え
ます。日を楽しみにしてい

2A 上田 瑞姫

私たち家族、地域の方々は、これから新たな道へ進み、から新たな道へ進み、変わることがあると思いますが、自分を信じて頑張ってください。このことは、ご卒業おめでとうございます。

研修主任
三谷 博根

生活主担当 山崎

三年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。コロナが流行り始めて入学早々タブレット校になり、マスクで相手の顔がわからず、新しい仲間と学校生活を送ることに当初は一保護者としてはとても心配でした。行事などに参加して皆さんのお姿をみているととても楽しそうで安心しました。コロナ禍でも高校生活動の思い出ができたことは本当に嬉しく思います。これからはそれそれ新しい場所での生活が始まっています。仕事も勉強も最初からまことにいかないかもしれませんのが、向きに捉え少しずつ目標に向かって歩いて行つてほしいと思います。今年は兎年。飛躍の年です。先生方も家族も友達も皆さんを応援していますよ！

